

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名		献血制度啓発推進事業費		部課コード	1108	予算事業科目	010402010234	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	健康福祉部	部局長名(2次評価者)	岡林 敏行		個別事務	全部	010402010234	-	1	
	担当部署	保健総務課	所属長名(1次評価者)	門吉 直人					-		
	電話番号	088-822-1196	E-mail	kc-110800@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け		
会計 01 一般会計	目標 02 いきいきと輝き安心して暮らせる都市	政策基本方針	地域に暮らす人々が、年齢の違いや障害の有無にかかわらず、人生のあらゆる舞台上、健康で文化的な生活を享受できる環境づくりを推進します。
款 04 衛生費	政策 04 健やかに暮らせる環境づくり		
項 02 保健所費	施策 01 健康づくり支援		
目 01 保健所総務費	区分 06 地域保健推進		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市献血推進員設置に関する要綱	
その他(計画、覚書等)	高知県献血推進計画、献血の推進に関する計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	16歳～69歳の市民(幼少期の子を持つ親子を含む。)	
意図	どのような状態にしていけるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>献血による血液製剤の国内自給の確立</li> <li>国が策定する毎年度の「献血確保目標量」を基に、高知県献血推進計画が策定されており、この中で、各市町村での献血目標量が定められていることから、この目標量を確保する。</li> </ul>	
手段	事業実施体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>県と協力して、より多くの市民に献血に参加していただくため、献血に関する啓発を行うことにより、献血への関心を高める。また、高知県赤十字血液センターの献血受け入れ計画の実施を確保するため、献血会場の確保等の配慮を行う。</li> </ul>	事業開始年度 平成16年度 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>「愛の血液助け合い運動」月間(7月)の啓発及びキャンペーンの実施</li> <li>「はたちの献血」キャンペーン(1～2月)の啓発</li> <li>広報媒体(あかるいまち、テレビ、ポスター等)を活用し、献血の重要性や必要性を呼びかけ、特に400mL全血成分及び成分献血に協力してもらえるよう、広報・普及活動を実施する。</li> <li>高知市献血推進員を委嘱し、高知市内の地域・職場に根付いた献血啓発・推進を行っている。</li> <li>献血推進員連絡会を年1回行い、情報交換を行っている。</li> </ul>	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	献血量200mL換算本数(本)	献血により得られた血液量を200mLに換算した本数
	B	献血実績(200mL換算)対前年比(%)	献血実績(200mL換算) / 前年度献血実績(200mL換算)
	C		

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	献血量200mL換算本数(本)	目標 22,684	21,301	22,011	24,292		
			実績 18,479	20,782	22,167			
	B	献血実績(200mL換算)対前年比(%)	目標 100	100	100			
			実績 103.9	111.6	106.7			
	C		目標					
			実績					
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	71	43	40	78		
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	71	43	40	78	
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	750	750	750	750		
		正規職員(千円)	750	750	750	750		
			その他(千円)					
			人役数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
		正規職員(人)	0.10	0.10	0.10	0.10		
			その他(人)					
	総コスト=①+②(千円)		821	793	790	828		
市民1人当たりコスト(円)		2	2	2		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)		341,544	340,695	339,714				

## 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

少子高齢化に伴い、献血者数は年々減少しているが、血液の必要量は増加しており、慢性的な血液不足の状況である。また、輸血用の血液は全て献血により賅われている。少子高齢化が全国平均より速い速度で進行している高知県の中でも、県全体の献血者数の約6割を占めている高知市での献血推進・啓発が重要となる。  
献血推進は人命に係わる大切な事業であるので継続的な啓発・推進が必要となる。

## 6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 21 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	B	3.0	献血推進は人命に関わる大切な事業であり、慢性的な血液不足の解消は、健康で安心してらせる環境づくりに欠かせない。また、目標献血量は増加傾向にあるが、市民の意識は低調（横ばい）で啓発活動が不可欠な状況にある。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	4.0	市内の献血量は、啓発活動と400ml献血の普及により増加傾向にあり、H21は達成率が100.7%と初めて100%を超えた。また、現在の予算の範囲内では妥当な事業手法と考える。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	予算の使途が、献血推進員報酬やキャンペーン時の消耗品費程度であり、民間活力利用やこれ以上のコスト減への対応は困難な状況にある。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	4.0	献血制度啓発促進により、輸血を必要とする多くの市民が受益を受けることが可能となる。また、受益者負担は事業の趣旨になじまない。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	B		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	16.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
			B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
			C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）		
			D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

## 7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

## 8 特記事項

--